



宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

2020 11月

常設展示室

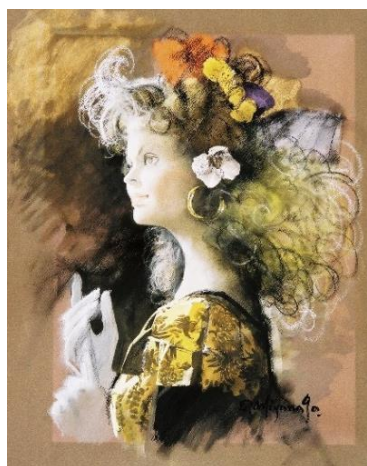
宮永岳彦が描く四季の花

思い出の花園

2020年2月28日(金) ▶ 11月23日(月・祝)

展示作品より今月の一点

《 爛 》



透き通った肌に艶やかな唇。ほんのり紅を差した頬からはかすかに少女のようなあどけなさも感じられます。この作品は、パステルと絵の具を併用しており、重厚感のある古典的なドレスや髪飾りは油彩画とは一味違った風合いを醸し出しています。

髪の毛は、ふわふわとボリュームたっぷり

に描かれ、パステルの特長を生かした柔らかで優しい印象に仕上がっています。このように無造作で大胆な筆致の中にも、宮永の高い描写力がうかがえます。

また、この作品のタイトル『爛』には、華やか、輝くという意味があります。まさにこのタイトルに相応しく、華やかに輝き、気品ある美しい女性像を間近でご覧ください。

パステル画 1981年 85.5×71.8cm

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

宮永岳彦と旅にでる

11月27日(金)より新展示が始まります。

宮永岳彦が描く風景の作品を展示いたします。皆様のご来館をお待ちしています。

丹沢シリーズの絵はがきを販売しています。

「宮永岳彦と旅にでる」で展示する、郷愁に満ちた丹沢シリーズ。

この宮永の愛した秦野の原風景を描いた絵はがきを当美術館でご購入いただけます。

どうぞお手に取ってご覧ください。



市民ギャラリーのご案内

入場無料

さきおり工房浩子と織人たち

11月27日(金)～11月29日(日)
10:00～17:00

着られなくなった古布に新たな命を吹き込み、裂織として現代に蘇らせるすばらしい技術をぜひご覧ください。

12月の市民ギャラリー展示会の予定

鶴巻デジタル 写真教室	12月1日(火)～12月6日(日)
フォトやまゆり	12月8日(火)～12月15日(火)
日本画府写真部	12月22日(火)～12月27日(日)

※ 11月1日(日)から2021年5月分までの予約を受け付けています。

開催中の『思い出の花園』にちなんで、花についてのエッセイを連載します。

今月の花 「ポインセチア」

ポインセチアはメキシコ原産の常緑低木を改良して作られました。クリスマスに飾られるようになったのは17世紀からで、赤が「キリストが流した血」、緑が「永遠の命や愛」、樹液の白が「純潔」を表しているときれ、クリスマス象徴する3色を持つ植物として広まっていきました。

赤く色づいた部分は苞(ほう)と呼ばれる葉で、花は苞の中心にある黄色い部分です。日が短くなると花芽ができる短日植物で、自然条件では10月下旬から花芽分化が始まります。近年発表される園芸品種は自然条件でも早くから色づくように改良されています。また最近では赤だけではなく白やクリーム、ピンクや紫などカラーバリエーションも豊富で、クリスマス前の園芸店を賑やかにしています。

お部屋に色とりどりのポインセチアを飾り、クリスマスを素敵に演出してみたいはいかがでしょうか。



美術館へのアクセス

◆ 小田急線鶴巻温泉駅から徒歩2分
◆ 駐車場 弘法の里湯と共用 40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

11月の休館日：24日～26日は展示替えのため休館となります。
2日(月) 9日(月) 16日(月) 24日(火) 25日(水) 26日(木) 30日(月)